

架線作業スタートアップ研修 実施要領 (直営型)

一般社団法人 日本森林技術協会

目次

1. 研修概要.....	1
2. 研修カリキュラム.....	2
3. 研修実施に当たっての役割分担.....	4
4. 研修の実施決定後にお願いすること（事前準備：抜粋版）	5
5. 研修準備の進め方（事前準備：詳細版）	6
◆ 研修会場の選定.....	6
◆ 研修教材の準備.....	6
◆ 受講要件	7
◆ 研修経費等の負担	7

1.研修概要

研修名：森林作業システム高度技能者育成研修（架線作業スタートアップ研修）

一般社団法人日本森林技術協会（以下「当協会」という。）は、安全な架線作業を行う際の注意点を理解できるようにするため、単に索張り方式等を紹介するだけではなく、資器材等の安全な取扱い方、安全作業に必要な力学の基礎知識の習得及び構造を理解するための模式図の作成等、より実践的で効果的な研修（以下「架線作業スタートアップ研修」という。）を行います。

【架線作業スタートアップ研修の目的】

- **これから架線作業を始めようとする者に架線作業全般の基礎知識の習得を促進**
 - 架線作業主任者の指示のもと、架線作業を安全に行うことができる現場技能者を育成する
 - 高度架線技能者の育成と併せて、架線集材の基礎研修を開催し、安全な架線作業に関する知識を有する現場技能者を増加させる

研修期間：2日間（実質 **1.5日間**）

研修カリキュラム： **2～3ページ**参照

受講生：1班（講師1名）当たり **10名程度**

その他：

- ✓ 研修の**受講料は無料**であり、研修で使用する**教材を無料で配布**します。
- ✓ 研修に係る費用は当協会が負担しますので、**研修協力者が負担する経費はありません。**
- ✓ **「よくあるご質問(Q&A集)」**等を当協会のホームページに掲載しています。

2.研修カリキュラム

- ・ 研修期間は、2日間（実質1.5日間）とします。

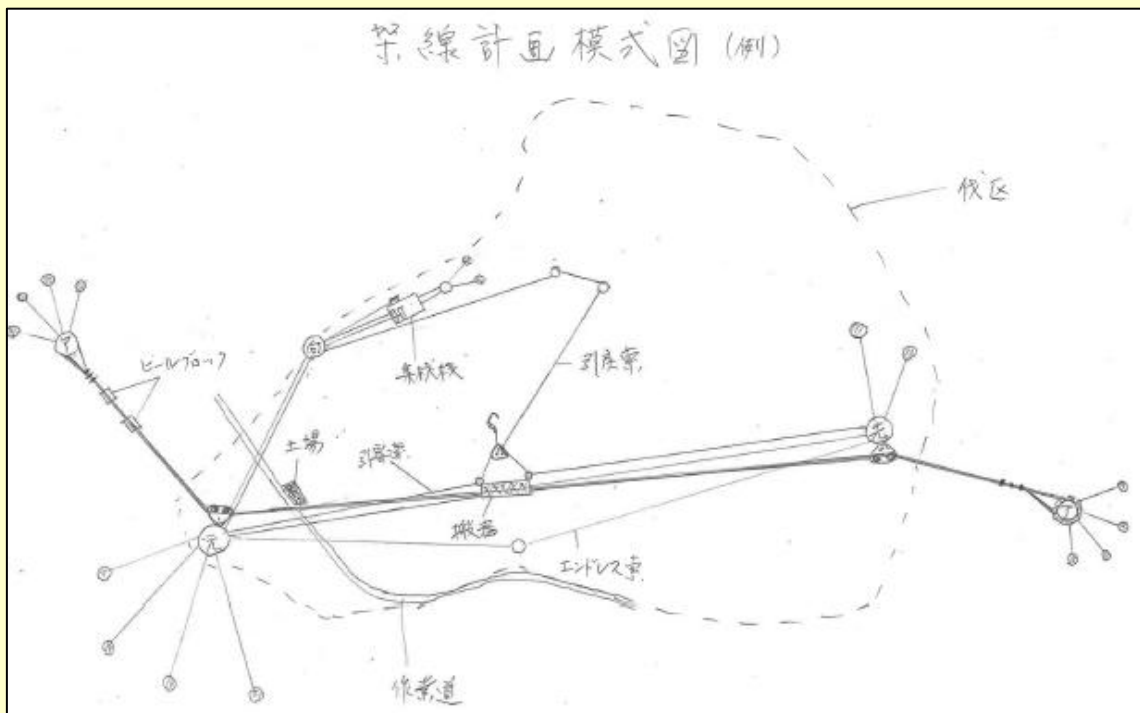
日程	時間	内容
1日目	9:00-9:15	開講式、オリエンテーション 研修目的や進行方法、事務局・受講者自己紹介を行う。
	9:15-10:15	【講義】架線作業の概要と必要性 第1章 架線集材の必要性と架線系作業システムの動向 第2章 集材機械と索張り方式
	10:15-11:00	【講義】設計計算の概要 第4章 作業計画・架線計画
	11:00-12:00	【講義】架線計画・架線作業の概要 第5章 集材機による架線作業 第6章 タワーヤードによる架線作業
	13:00-14:00	【講義】安全作業に必要な基礎力学（張力・荷重の基礎） 参考資料 基礎力学（張力・荷重の基礎）
	14:00-16:00	【意見交換】架線現場写真を用いた意見交換 受講生が個別に架線現場の写真から架線装置の設置状況についての問題点とその対応策等を記入し意見交換を実施
	16:00-17:00	【意見交換】安全作業のための事例 これまでの災害事例を参考にしながら、原因と対策を考えるとともに、危険予知能力を養うための意見交換を実施
	2日目	9:00-9:30
9:30-11:30		【演習】模式図の作成（構造理解） 地形条件や伐区情報をもとに、主索・補助索・支柱配置等の模式図を作成する。グループ討議で工夫点を検討し、実務に近い計画立案の流れを体験
11:30-12:00		全体意見交換・閉講式 演習結果や研修全体で得られた学びを共有

※適宜休憩時間をとる

(参考) 受講生の成果品のイメージ

【模式図】

エンドレスタイラー方式の構造を理解するため、土場位置、元柱、先柱、向柱、集材機設置場所を白紙に記入する。



3.研修実施に当たっての役割分担

■ 研修協力者

【実施決定前】

- 研修実施要望書の提出

【実施決定後】

- 研修実施計画書の提出
- 研修会場の確保
- 受講要件の確認

■ 当協会

- 受講要件や研修カリキュラム等の提示
- 研修教材の提供及び会場確保の協力（事前確認等）
- 研修受講希望者の審査
- 進捗状況管理
- 研修経費の支払い（室内会場の借料等）

4.研修の実施決定後にお願いすること(事前準備:抜粋版)

◆ 研修日程の確定

現時点(要望を伺っている今の段階)では、未定で構いません。
実施決定後に、講師と日程を調整する上で決めていただければ結構です。

◆ 研修会場の選定

現時点(要望を伺っている今の段階)では、未定で構いません。
室内会場が必要となりますが、当協会の担当者と協力して選定していきます。

◆ 受講要件

次の受講要件をすべて満たしていることが必要です。

- ・ 架線作業に関心があり、今後の実務を見据えて基礎を学ぼうとする者
 - ・ 今後、林業架線作業主任者免許を目指す者(現時点での資格有無は問わない)
 - ・ 労働災害補償保険の適用を受けている者(個人事業主は問わない)
- ※研修受講後、5年以上就業できる者

◆ 事前確認

効果的な研修を実施するために、研修協力者・事務局による事前確認(研修の進め方、指導内容等の確認、研修会場の確認、受講生プロフィールシート記載内容の確認等)を実施します。

◆ その他(連絡調整)

「**研修の進め方**」を記載した**詳細資料や様式等**は、後日、配布します。
併せて、当協会の担当者を配置して連絡調整に当たり、研修会場の選定等をサポートします。

5.研修準備の進め方（事前準備：詳細版）

- ① 研修協力者は、育成研修の実施要望書を当協会に提出
- ② 「研修の進め方」を記載した詳細資料や様式等を確認（実施希望者に対して、当協会では、担当者を配置し、連絡調整や講師選定、研修会場選定等をサポート）
- ③ 実施希望者は、研修期間を確定し、研修会場を選定した上で、**研修実施計画書を研修実施の1カ月前までに提出**
- ④ 実施希望者は、受講生の受講要件を確認した上で、**受講生一覧、受講生プロフィールシート等を研修実施の2週間前までに提出**
- ⑤ 研修実施前に、実施希望者・当協会**で事前確認（事前打合せ）**を実施（研修の進め方、研修会場の確認等）
- ⑥ 研修の実施
（実施希望者の協力を得ながら**研修期間中の運営管理等は当協会が実施**）

◆ 研修会場の選定

架線作業スタートアップ会場として、室内会場であり、以下の点に注意して選定してください。

➤ 室内会場

研修期間中（1.5日間）の使用が可能であり、プロジェクター等が利用できる場所を確保してください。

◆ 研修教材の準備

- 研修教材「高度架線技能者技術マニュアル2014」については当協会が準備します。なお、受講生には、無料で配付します。

◆ 受講要件

受講生になるには、次の受講要件をすべて満たしていることが必要です。

- 架線作業に関心があり、今後の実務を見据えて基礎を学ぼうとする者
 - 今後、林業架線作業主任者免許を目指す者（現時点での資格有無は問わない）
 - 労働災害補償保険の適用を受けている者（個人事業主は問わない）
- ※研修受講後、5年以上就業できる者

- ✓ 緑の雇用担い手対策事業における研修生が受講する場合、本研修の実施期間は、同事業による研修実施日から除外し、補助事業と委託事業による研修が重複して実施することのないよう注意してください。
- ✓ 研修修了者に対して修了証書を発行します。

◆ 研修経費等の負担

- 研修の受講料は、**無料**です。
- 研修に係る経費については、全て、当協会が負担します。（**実施希望者が負担する経費はありません。**）